

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
車両運搬具及び什器備品・・・定率法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産および特定資産の増減額及びその残高

基本財産および特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	4,610,226	0	4,610,226
減価償却引当資産	1,342,102	2,454,323	0	3,796,425
機械装置等積立資産	0	1,652,205	0	1,652,205
小 計	1,342,102	8,716,754	0	10,058,856
合 計	11,342,102	8,716,754	0	20,058,856

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(5,000,000)	(5,000,000)	0
小 計	10,000,000	(5,000,000)	(5,000,000)	0
特定資産				
退職給付引当資産	4,610,226	0	(4,610,226)	0
減価償却積立資産	3,796,425	0	(3,796,425)	0
機械装置等積立資産	1,652,205	0	(1,652,205)	0
小 計	10,058,856	0	(10,058,856)	0
合 計	20,058,856	(5,000,000)	(15,058,856)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	7,794,220	7,485,720	308,500
什器備品	735,000	685,234	49,766
機械装置	3,727,500	97,225	3,630,275
合 計	12,256,720	8,268,179	3,988,541

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	2,500
合 計	2,500

- 1 その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,387,900	2,222,000	0	0	4,609,900